

## 第4次熊本市食の安全安心・食育推進計画

### 「食育の推進」の取組について

## 【食育の推進】

### 1 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

#### (1)家庭における食育の推進

食育の基本は家庭にあることを伝え、食を楽しみ、食を営む力を身につける食育の推進に取り組む

#### (2)学校、保育所等における食育の推進

学校、保育所等において、給食や体験型の食育活動を通じた食育の推進に取り組む

#### (3)地域における食育の推進

こどもから高齢者まで全ての世代の市民が、地域やそれぞれの活動の場で、食についての学習の機会や共食を通して、食に関する理解や関心を深めるための食育の推進に取り組む

### 2 健康意識の程度に関わらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

#### (1)健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信

健康寿命の延伸のため、生活習慣病予防や重症化予防のための食に関する情報を発信し、**健全な食生活の実施に向けた食育の推進**に取り組む

#### (2)食生活改善をサポートする人材の育成

市民が健全な食生活を実践しやすい環境を整備するため、管理栄養士等の専門家や、食生活改善推進員等のボランティアの育成と活動支援に取り組む

#### (3)食品関連事業者等と連携した食育の推進

食品関連事業者等と連携し市民が食事や健康づくりに関する情報を入手しやすい**食環境の整備**に取り組む

### 3 市民運動としての食育の展開

#### (1)市民協働による食育運動展開

食育に係る多様な関係者と連携・協働で、「食育月間」や「食育の日」などの啓発を行い、食育の市民への定着に取り組む

#### (2)食育支援団体のネットワーク整備

「健康くまもと21推進会議食の安全安心・食育部会」や「熊本市こどもの食育推進ネットワーク」において、食育推進体制の充実を図る

#### (3)新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進

ICT等のデジタル技術を有効活用し、効果的な情報発信を行い、**デジタル化に対応した非接触型の食育の推進**に取り組む

### 4 持続可能な食を支える食育の推進

#### (1)生産者と消費者の交流促進

生産者と消費者の交流を通して、食べ物への感謝の念や食に対する安心感と地元農水産物への理解を深め、地域活性化につながる食育に取り組む

#### (2)地産池消の促進

**くまもとらしさを生かした地産池消の推進**や、学校給食や保育所給食等への地元産物の活用促進を図る

#### (3)くまもとの食文化の伝承

くまもとの伝統料理や郷土料理等に関する情報提供や、**食文化の伝承活動**に取り組む

#### (4)食の循環や環境を意識した食育の推進

食育を通じた環境保全の取組や、環境保全体験を通じた食育活動に取り組む

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

\*R4年度実績値

施策の方向性		(1)家庭における食育の推進	*R4年度実績値		
			R5 基準値	R17 目標値	
検証指標 項目	①	食育に関心がある市民の割合	88.2%	95%	
	②	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	10.4回	11回	
	③	朝食の摂取状況 ※幼児は「毎日食べる」の割合、 他は「ほとんど食べない」の割合	幼児	96.7%	100%
			小学5年生	*1.9%	0%
			中学2年生	*2.5%	0%
			若い世代【20歳代・30歳代】	13.3%	10%以下
	65歳以上	2.3%	0%		
取り組むべき 施策		1) 健康をつくる「食」についての啓発			
		2) 食を楽しむことについての啓発			
		3) こどもの頃からの体験を通じた食育の推進			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	朝食の摂取状況 小学5年生	1.2%	0%	0%	健康教育課
2	●検証指標	朝食の摂取状況 中学2年生	2.5%	0%	0%	健康教育課
3	■検証指標に準じる指標 (幼児の朝食)	1歳6か月児健康診査－朝食を毎日食べている子の割合 (受診前質問票集計)	96.9%	100%	100%	各区保健こども課
4	■検証指標に準じる指標 (幼児の朝食)	3歳児健康診査－朝食を毎日食べている子の割合 (受診前質問票集計)	94.2%	100%	100%	各区保健こども課
5	■検証指標に準じる指標 (18歳以上の朝食)	健康のために実行していること－毎日朝食を食べる(総合 計画アンケート)	76.1%	100%	100%	健康づくり 推進課
6	■検証指標に準じる指標 (幼児の共食)	3歳児健康診査－こどもだけで食事をする事が「よくある」 「時々ある」こどもの割合(受診前質問票集計)	17.4%	0%	0%	各区保健こども課
7	結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	継続実施	継続実施	こども政策課
8	乳幼児ママ・パパ教室	就学前の子どもを持つ保護者の団体や子育てサークル等に講師を派遣し、家庭教育についての学習機会の提供	派遣回数 4回	継続実施	継続実施	こども支援課
9	乳児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施	90回 810人	継続実施	継続実施	各区保健こども課
10	幼児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施	16回 117人	継続実施	継続実施	各区保健こども課
11	育児相談	乳幼児の健康、食生活、歯科について相談を実施	相談件数 1,233人	継続実施	継続実施	各区保健こども課
12	妊産婦健康相談	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	参加人数 2,181人	継続実施	継続実施	各区保健こども課

13	妊婦健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.0%	100%	100%	こども支援課
14	妊婦一般健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	該当者なし	医師の指示があれば 全数対応	医師の指示があれば 全数対応	こども支援課 各区保健こども課
15	3か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.1%	100%	100%	こども支援課
16	7か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 97.1%	100%	100%	こども支援課
17	3・7か月健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 97.9%	100%	100%	各区保健こども課
18	1歳6か月児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 98.2%	100%	100%	こども支援課 各区保健こども課
19	3歳児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 97.7%	100%	100%	こども支援課 各区保健こども課
20	乳幼児経過観察健診	こどもの発育・発達状況に応じた指導を実施	受診率 96.1%	100%	100%	こども支援課 各区保健こども課
21	子育て支援センター来所者の保育所給食見学	楽しく食べることの重要性や方法を、親子での保育体験を通して、給食見学から学ぶ	実施なし	継続実施	継続実施	こども支援課 子育て支援センター
新	はやね・はやおき・朝ごはんカードを活用しての取組	熊本市こどもの食育推進ネットワークで作成した、はやね・はやおき・朝ごはんカードを用いた家庭での生活リズムの確立のための支援	配付数 7,341	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

\*R4年度実績値

施策の方向性		(2) 学校、保育所・幼稚園等における食育の推進	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標項目	④	体験型食育活動に取り組んでいる保育所・幼稚園等の割合(実施園数/全施設数)	*91.1%	100%
	⑤	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	*82.0%	100%
取り組むべき施策		4) 学校、保育所・幼稚園等における食育の推進		
		5) 給食を活用した食育の推進		

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	【公立保育所】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	実施率 100%	100%	100%	保育幼稚園課
2	●検証指標	【私立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	実施率 93.5%	100%	100%	保育幼稚園課
3	●検証指標	【公立幼稚園】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	実施率 100%	100%	100%	指導課
4	●検証指標	【私立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	実施率 100%	100%	100%	健康づくり推進課
5	●検証指標	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	79.6%	100%	100%	健康教育課
6	保育所での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 公立100% 私立93.5%	100%	100%	保育幼稚園課
7	公立幼稚園での体験型食育	各園において季節の野菜・果実の栽培活動を実施し、育てた野菜を使った調理体験等を行うことで、栽培・収穫の喜びと楽しみを体験させる。	実施率 100%	100%	100%	指導課
8	保育所給食における展示食の実施	日々の給食内容を保護者に知らせ、保護者の給食への関心を高め、食について親子での会話を促す	実施率 公立100% 私立75.0%	100%	100%	保育幼稚園課
9	「食育だより」の発行	献立表と一緒に、毎月「食育だより」を家庭に向け発信し、食育を推進	実施率 公立100% 私立93.5%	100%	100%	保育幼稚園課
10	保護者の保育参観	保育所給食の試食と、保育所給食についての説明等を実施	実施率 公立31.6% 私立54.4%	85%	85%	保育幼稚園課
11	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	配布数 6,911枚	継続実施	継続実施	健康教育課
12	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集の作成	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	実施	継続実施	継続実施	健康教育課
13	「給食だより」「食育だより」の発行	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	発行校の割合 100%	継続実施	継続実施	健康教育課
14	わくわく楽しい学校給食作品展	給食に関する児童生徒の作品を展示	応募数 996点	継続実施	継続実施	健康教育課

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

\*R4年度実績値

施策の方向性		(3) 地域における食育の推進	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標 項目	⑥	企業、大学等での食育に関する講座の開催件数	*3件	40件
	⑦	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	*768	876 (令和8年度)
取り組むべき 施策		6) こどもや高齢者に対する食育の推進		
		7) 若い世代や働き盛り世代に対する食育の推進		
		8) 世帯構造や生活の多様性をふまえた食育の推進		

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	11件	40件	40件	各区保健こども課 健康づくり推進課
2	●検証指標 働き盛り世代のための食育実践講座	職域等と連携し、自身の健康状態や食生活の問題点に自らが気づき、改善の必要性を認識し行動に移すための講座等を実施	7件			各区保健こども課 健康づくり推進課
3	●検証指標	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	811	876 (R8年度)	—	高齢福祉課
4	高齢者のための食育実践講座	フレイルや低栄養予防のための、望ましい食生活の進め方について講話を実施	21回 377人	継続実施	継続実施	各区保健こども課
5	介護予防教室	低栄養予防、食生活改善のための健康教育等を実施 (※R2からは、「啓発パンフレットの作成と配付」を除く)	364	継続実施	継続実施	高齢福祉課
新	こども食堂(地域食堂)の活動支援	開設時の相談受付、補助金等の情報提供、食材等寄付のマッチング等、食育・孤食防止等に取り組むこども食堂(地域食堂)への支援を実施	実施	継続実施	継続実施	こども政策課
新	短期集中予防サービス(栄養改善プログラム)	栄養改善が必要な方に対し、訪問による個別的栄養相談のプログラムを実施	154	継続実施	継続実施	高齢福祉課
新	健康教室(一体的実施事業)	フレイルのための健康教室を実施 体力測定や質問を活用し、フレイル状態を把握する機会とし、フレイル予防に関する健康教室を実施	92箇所	継続実施	92箇所	国保年金課
新	女性のための食育実践講座	やせや骨粗しょう症の予防等、女性の健康づくりのための食生活の進め方について講話を実施	0回	継続実施	継続実施	各区保健こども課

II 健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

\*R4年度実績値

施策の方向性		(1) 健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標 項目	⑥	企業、大学等での食育に関する講座の開催件数【再掲】	*3件	40件
	⑧	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上	77.7%	85%
		ほぼ毎日食べている市民の割合	若い世代【20歳代・30歳代】 74.6%	80%
	⑨	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	60.7%	75%
⑩	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に	31.8%	50%	
	気をつけた食生活を実践している市民の割合	若い世代【20歳代・30歳代】 23.4%	30%	
取り組むべき 施策		9) 「食事バランスガイド」等を活用した食生活への支援		
		10) 健全な食生活の実践や、生活習慣病予防等についての啓発		

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標 働きざかり世代のための食育実践講座	職域等と連携し、自身の健康状態や食生活の問題点に自らが気づき、改善の必要性を認識し行動に移すための講座等を実施	7件 161人	40件	40件	各区保健こども課 健康づくり推進課
2	●検証指標 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	11件 445人			各区保健こども課 健康づくり推進課
3	■検証指標に準じる指標 (野菜摂取の状況)	健康のために実行していることー1日2回以上野菜を食べる(総合計画アンケート)	47.8%	—	—	健康づくり推進課
4	■検証指標に準じる指標 (日本型食生活)	健康のために実行していることー米を中心とした栄養バランスの優れた「日本型食生活」を心がけている。(総合計画アンケート)	44.1%	—	—	健康づくり推進課
5	■検証指標に準じる指標 (体重管理)	健康のために実行していることー体重管理に心がけている(総合計画アンケート)	47.8%	—	—	健康づくり推進課
6	出前講座	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き、食をテーマにした講話や実習等を行う	66回	継続実施	継続実施	生涯学習課
7	小児生活習慣病予防検診	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施(評価指数:肥満度20%以上の児童の割合)	11.4%	減少	減少	健康教育課
8	健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	健康手帳 使用者数 1,426人	継続実施	継続実施	健康教育課
9	すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 55,951人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
10	食事バランスガイドの啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、食事バランスガイドの啓発を行い、日本型食生活の定着を図る	啓発数 2,010人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
11	栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	啓発数 11,963人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課

12	健康教育 (40～64歳)	健康づくりや生活習慣病予防に関する知識の普及と啓発を実施	参加者数 5,471人	継続実施	継続実施	各区保健こども課
13	健康相談 (40～64歳)	個人の生活習慣や食習慣に応じた、健康づくりや生活習慣病予防、生活習慣病の重症化予防に関する助言・相談を実施	参加者 1,303人	継続実施	継続実施	各区保健こども課
新	生活習慣病重症化予防対策 (特定健診)	特定健康診査の結果より、生活習慣病重症化予防のため、受診勧奨値レベルにある者(血圧、血糖、腎機能)へ通知、電話や訪問等を通じて、受診勧奨および生活習慣改善のため、食生活や運動習慣などの改善を促していく。	受診勧奨実施率100%	受診勧奨実施率100%	受診勧奨実施率100%	国保年金課 各区保健こども課
新	後期高齢者健診生活習慣病重症化予防対策	後期高齢者健診の結果より、生活習慣病重症化予防のため、受診勧奨値レベルにある者(血圧、血糖、腎機能)へ、電話や訪問等を通じて、受診勧奨および生活習慣改善のため、食生活や運動習慣などの改善を促していく。	受診勧奨実施率100%	受診勧奨実施率100%	受診勧奨実施率100%	国保年金課
新	フレイル予防対策事業	貧血項目に着目し、フレイル予防として低栄養の改善と骨折予防のため、訪問等で保健指導を実施する	受診勧奨実施率100%	受診勧奨実施率100%	受診勧奨実施率100%	国保年金課
新	短期集中予防サービス 勧奨業務	後期高齢者健診の結果より、短期集中予防事業サービス該当者へ勧奨を行う。	勧奨実施率100%	受診勧奨実施率100%	受診勧奨実施率100%	国保年金課
新	【再掲 I-(3)】 健康教室(一体的実施事業)	フレイル予防のための健康教室を実施 体力測定や質問を活用し、フレイル状態を把握する機会とし、フレイル予防に関する健康教室を実施	92箇所	92箇所	92箇所	国保年金課
新	特定保健指導	特定保健指導を通じて、生活習慣の改善に取り組みむ。 (終了時に改善ができたもの)	令和4年度 法定報告値 11.9%	—	25%	国保年金課
新	適正体重の維持についての啓発	適正体重を知りそれを維持することの重要性について、チラシ等を媒体として啓発を行い、ライフコースに応じた適切な確な情報提供を行う	実施	継続実施	継続実施	健康づくり 推進課 各区保健こども課

II 健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

\*R4年度実績値

施策の方向性		(2) 食生活改善をサポートする人材の育成	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標項目	①	食育の推進に関するボランティア数	*997人	1,200人
取り組むべき施策	11) 管理栄養士・栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と連携強化			
	12) 食生活改善推進員等、地域支援者の養成と育成			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	食育の推進に関するボランティア数 (食生活改善推進員協議会+8020健康づくりの会の会員数)	989人	—	1,200人	健康づくり推進課
2	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	公衆栄養の場における、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 34人	継続実施	継続実施	各区保健子ども課
3		実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 29	継続実施	継続実施	健康教育課
4	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援	受入数 6	継続実施	継続実施	指導課 健康教育課
5	栄養管理、調理師対象の研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	開催数 2回	2回	2回	食品保健課
6	食育担当者等研修会の実施	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催	参加者 137人	継続実施	継続実施	健康教育課
7	栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	授業力向上等の研修会を実施	参加者 70人	継続実施	継続実施	健康教育課
8	地域歯科保健研修会の実施	歯と口腔の健康づくりを総合的に支援する環境の整備に取り組むため、保健関係者等が一同に会し、連携強化を図る	1回 167人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
9	食生活改善推進員養成講座(すこやかまもと栄養セミナー)	食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成	養成数 66人	100人 (20人×5区)	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	食生活改善推進員研修会	ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得	49回 1,668人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
11	食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 3,917人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
12	8020推進員育成講座	8020運動を推進する市民ボランティアの育成	養成数 107人	100人 (20人×5区)	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課

II 健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

施策の方向性		(3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標項目	⑫	スマートミール認証への支援店舗数	0店舗	60店舗
取り組むべき施策	13) 食品工場見学等、体験を通じた食育の推進			
	14) 事業者に対する食育の普及と事業者からの発信			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	「スマートミール認証店」登録支援店舗数(新規)	0店舗	30店舗	60店舗	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業	市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う	支援事業者数 219件	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
3	【再掲II-(1)】 栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	啓発数 11,963人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
4	栄養に関する表示実施支援	栄養に関する表示を実施する食品関連事業者等に対して技術的支援を行う	実施	継続実施	継続実施	食品保健課 健康づくり推進課 各区保健こども課
新	利用者に応じた食事提供をしている特定給食施設の増加	学校、児童福祉施設、老人福祉施設等の特定給食施設に対し、管理栄養士・栄養士の配置を促す (管理栄養士を配置しなければならない病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く)	68.1%	75%	75%	食品保健課

### Ⅲ 市民運動としての食育の展開

施策の方向性		(1) 市民協働による食育運動の展開	R5	R17
検証指標項目			基準値	目標値
	①	食育に関心がある市民の割合【再掲】	88.2%	95%
取り組むべき施策		15) 食育に関する機運の醸成		
		16) 関係団体と連携した食育運動の展開		

#### 《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	食育月間等における啓発	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る	実施	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	市民食育講演会	食育をテーマにした講演会を開催し、市民の食育に関する機運の醸成と食育の重要性を広く周知する	1回 117人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
3	熊本市民健康フェスティバル	食育に関する情報提供や啓発活動を実施	来場者実人数 908人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
4	ホームページ「くまもの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 100,593人	増加	増加	食品保健課 健康づくり推進課
5	食育に関する全市的広報	市政だより、ラジオ、熊本市公式ホームページ、SNS等を使った食育についての市民への啓発	182回	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
6	イベント時に、若い世代への健康に関する啓発	若い世代に、食育、歯科、ライフプラン、がん検診等について啓発	3回 1,198人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
7	食育に関する消費者セミナーの実施	市民を対象にした食育に関する啓発	34人	継続実施	継続実施	生活安全課 消費者センター
8	【再掲Ⅱ-(2)】 食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 3,917人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
9	食生活改善推進員地区組織活動	食生活改善推進員が、地域で食を通じたボランティア活動を実施	活動件数 32,361件	増加	増加	健康づくり推進課 各区保健こども課
10	8020推進員地域活動支援事業	8020推進員による地域ボランティア活動の実施	支援件数 1,762件	増加	増加	健康づくり推進課 各区保健こども課

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

\*R4年度実績値

施策の方向性		(2) 食育支援団体のネットワークの整備	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標項目	⑬	「熊本市こどもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	*22.7%	70%
取り組むべき施策	17) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	● 検証指標	「熊本市こどもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	26.2%	-	70%	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	■ 検証指標に準じる指標	熊本市こどもの食育推進ネットワークの加入団体数(こどもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開)	加入団体 427団体	増加	増加	健康づくり推進課 各区保健こども課
3	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する	開催数 2回	2回	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
4	熊本市こどもの食育推進ネットワーク全体研修会	ネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催	2回 297施設、 462人参加	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
5	熊本市こどもの食育推進ネットワーク地域研修会	区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催	15回 408人(施設)	継続実施	継続実施	各区保健こども課

Ⅲ 市民運動としての食育の展開

\*R4年度実績値

施策の方向性		(3) 新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標項目	⑭	デジタル技術を活用した食育情報発信の件数	*103件	150件
取り組むべき施策	18) SNS等、デジタル技術を活用した食育の推進			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	デジタル技術を活用した情報発信の件数	151件	増加	150件	健康づくり推進課 各区保健こども課
新	【再掲Ⅲ-(1)】 ホームページ「くまもとの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 100,593	増加	増加	食品保健課 健康づくり推進課
新	食のホームページ、熊本市(区)ホームページでの「食」に関する情報提供	ホームページでの食育の推進に関する情報提供	68回	継続実施	継続実施	健康づくり課 各区保健こども課
新	食に関する教室や研修会のオンライン開催	市民や事業者等を対象とした、食に関する教室や研修会のオンライン(対面との併用も含む)開催	11回	継続実施	継続実施	健康づくり課 各区保健こども課
新	【再掲Ⅰ-(1)】 結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	継続実施	継続実施	こども政策課
新	【再掲Ⅳ-(2)】 SNSを活用した熊本市農水産物のPR	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信	実施	継続実施	継続実施	農業政策課

IV 持続可能な食を支える食育の推進

施策の方向性		(1)生産者と消費者の交流促進	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標項目	⑮	農林漁業体験を経験した市民の割合	32.3%	50%
	⑯	生産者との交流活動を実施した学校の割合	—	50%
取り組むべき施策		19) 農林漁業体験を通じた食育活動の推進		
		20) 生産者と消費者の交流会の開催		

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	生産者との交流活動を実施した学校の割合	20%	50%	50%	健康教育課
2	生産者との給食交流会	給食物資の生産者と児童・生徒との交流と会食を実施し、食育の推進を図る	開催数 4回	継続実施	継続実施	健康教育課
3	すこやか交流広場管理運営事業	こども農園の貸付や農園ボランティアによる栽培指導を実施し、世代間交流を促進	70%	100%	100%	健康福祉政策課
4	学校農園等での栽培活動	学校農園、休耕田、プランター等を活用し、栽培、収穫等を体験する	100%	100%	100%	指導課
5	市民(小学生等)と水産業との交流促進	出前授業を通じ、本市水産業の紹介や漁協等が主催する干潟体験等を支援	3	6	—	水産振興センター
新	【再掲 I-(2)】 保育所での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 公立100% 私立93.5%	100%	100%	保育幼稚園課
新	【再掲 I-(2)】 公立幼稚園での体験型食育	各園において季節の野菜・果実を栽培活動を実施し、育てた野菜を使った調理体験等をすることで、栽培・収穫の喜びと楽しみを体験させる	実施率 100%	100%	100%	指導課

IV 持続可能な食を支える食育の推進

\*R4年度実績値

施策の方向性		(2) 地産地消の促進	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標 項目	⑰	進んで地元農水産物を購入する市民の割合	59.7%	80%
	⑱	市内における農産物直売所の販売額	*7.3億円	増加
	⑲	学校給食における地元農産物の使用割合	*39.2%	43%
取り組むべき 施策		21) 「くまもとらしさ」を活かした地産地消の推進		
		22) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進		

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	●検証指標	市内における農産物直売所の販売額	7.8億円	—	増加	農水ブランド戦略室
2	●検証指標	学校給食における地元農産物の使用割合 毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付	市産品率 38.8%	市産品率 43%	継続実施	健康教育課
3	給食における地元産物の利用と地産地消の推進	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	実施	継続実施	保育幼稚園課
4	農産物直売所支援	熊本市農産物直売所連絡協議会への情報提供や総会の開催を通じて、直売所間の連携を強化し、直売所全体での販売促進を図る	実施	継続実施	継続実施	農水ブランド戦略室
5	SNSを活用した熊本市農水産物のPR	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信	実施	継続実施	継続実施	農業政策課
6	栄養教諭等の生産地視察	学校給食使用農産物の生産地を視察し、食育に活用	開催数 6回	継続実施	継続実施	健康教育課
新	地産地消フェアの開催	地産地消フェアを開催し、生産者と消費者が交流する機会を創出し、地産地消を推進する	実施	継続実施	継続実施	農水ブランド戦略室
新	学校給食を軸とした食育プロジェクト 「まるごと くまもと ありがとうのひ」給食	市産品を活用した給食「ひごまるデー」を発展させた、地元食材が主役の給食「まるごと くまもと ありがとうのひ」を実施 あわせて、生産者との交流及び取組の市民への啓発	実施	継続実施	継続実施	健康教育課 農水ブランド戦略室 健康づくり推進課

IV 持続可能な食を支える食育の推進

施策の方向性		(3)くまもとの食文化の伝承	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標項目	㊸	家庭での食事に郷土料理を取り入れている市民の割合	59.1%	80%
取り組むべき施策	23) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の促進			
	24) 関係団体との連携による食文化の伝承活動の推進			

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	郷土料理の食のホームページ掲載	郷土料理、祭事料理をホームページ「くまもとの食」や熊本市ホームページに掲載し発信	実施	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
2	郷土料理を掲載した給食レシピ集の発行	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	実施	継続実施	継続実施	健康教育課
3	給食における郷土料理の実施と啓発活動	学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	実施小学校数 100%	実施小学校数 100%	継続実施	健康教育課
4		郷土料理を給食献立に取り入れ、広く保育所等へ発信すると共に、食育だより等に掲載し家庭へも情報提供を行う	実施	実施	継続実施	保育幼稚園課
5	保育園児と地域住民との交流会	地域住民との交流会で、団子汁会や芋煮会を行い、郷土食を伝承	実施	実施	継続実施	保育幼稚園課
新	次世代に伝えたい、郷土料理「熊本のごはん」普及事業	郷土料理レシピ集「熊本のごはん」の普及、啓発を図り、「家庭での食事に郷土料理を取り入れている市民の割合の増加」を目指す	10回 185人	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
新	いきなり団子プロジェクト	小中学生とその保護者対象に、持続可能な食に貢献する熊本の郷土料理を調理実習やイベントでの啓発を通して次世代へ伝承する	—	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課

IV 持続可能な食を支える食育の推進

施策の方向性		(4) 食の循環や環境を意識した食育の推進	R5	R17
			基準値	目標値
検証指標 項目	㉑	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	77.2%	85%
	㉒	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合	55.3%	60%
	㉓	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	81.3%	85%
取り組むべき 施策		25) 食育を通じた環境保全		
		26) 環境保全体験を通じた食育活動の推進		

《行政》

	主な取組	取組内容	R5現状値	R11目標値	R17目標値	担当課
1	水質監視	地下水等に関する水質監視	監視率 100%	100%	100%	水保全課
2	広域水保全対策	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する	参加人数 20人	参加人数 50人	—	水保全課
3	タブレットに対応した社会科副教材の制作	本市のごみ事情をやさしく解説した小学校4年生向けの社会科副教材をタブレットで受講できるようデータで提供する	タブレットで 受講できるよう教材をデータで教育センターに提供	継続実施	継続実施	廃棄物計画課
4	環境保全に関する市民啓発	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う	1,520人	—	増加	環境総合センター
5	「もったいない！食べ残しゼロ運動」の推進	「もったいない！食べ残しゼロ運動」に取り組む飲食店等を協力店として登録し、紹介することで飲食店等及び利用者への意識啓発を行う	実施	継続実施	継続実施	事業ごみ対策課
新	保育所での食育媒体を活用した啓発	保育所の食育計画や毎月の献立に沿った食育媒体を作成し、保育の中で活用することで、食への感謝と食べ物を大切にすることの意識の啓発を行う	実施	継続実施	継続実施	保育幼稚園課
新	【再掲Ⅱ-(1)】 すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施 自分にあった一食分の適量を知り、作りすぎ、食べ過ぎを防ぐ	累計 55,951人	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課

関係団体・機関における、第4次食の安全安心・食育推進計画「食育の推進」のための取組一覧(令和6年度)

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践	II 健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり
<p>I-(1) 家庭における食育の推進</p> <p>熊本県栄養士会 栄養・食生活相談</p> <p>熊本県栄養士会 短期集中予防サービス(訪問栄養指導)</p> <p>食生活改善推進員協議会 こどもの健康・食生活の支援活動</p> <p>食生活改善推進員協議会 若者・働き世代の健康・食生活の支援活動</p> <p>食生活改善推進員協議会 高齢者の健康・食生活の支援活動</p>	<p>II-(1) 健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信</p> <p>熊本県栄養士会 公開講座の実施</p> <p>全国健康保険協会熊本支部 特定保健指導等での食事指導</p> <p>全国健康保険協会熊本支部 事業所向け健康づくりセミナーの実施</p> <p>熊本県総合保健センター 地域での健康支援(特定保健指導、栄養指導等)</p> <p>熊本県総合保健センター 職域での健康支援(特定保健指導、セミナー等)</p> <p>➡「めざせ！5つ星 健康寿命をのばすスマートライフ！」をテーマにスマートライフプロジェクトを基に食事・運動・禁煙・睡眠についての情報提供資料を健診結果に同封。</p> <p>食生活改善推進員協議会 すこやか食生活改善講習会</p> <p>食生活改善推進員協議会 食生活改善推進員が牽引するヘルスサポーター養成事業(若者世代・高齢世代)</p>
<p>I-(2) 学校、保育所・幼稚園等における食育の推進</p> <p>熊本県歯科衛生士会 子ども文化会館歯科健康講座</p> <p>熊本県歯科衛生士会 小学校歯磨き巡回指導</p> <p>熊本市PTA協議会 単位PTAでの食育の情報共有と取組</p> <p>熊本市PTA協議会 学校給食に関する各種会議への参加</p> <p>私立幼稚園・認定こども園協会 食育に関する情報や研修会等の周知と参加</p> <p>熊本市歯科医師会 小学3年生を対象とした歯磨き巡回指導</p> <p>熊本県立大学 事業所内保育園の給食改善</p> <p>シェフパティシエ学院 幼稚園児に対して、お菓子・パン作り教室予定</p> <p>崇城大学 学食での100円朝食の実施</p>	<p>II-(2) 食生活改善をサポートする人材の育成</p> <p>熊本市保育園連盟 キャリアアップ研修、給食部会研修の開催</p> <p>食生活改善推進員協議会 食生活改善推進員養成講座への協力</p> <p>食生活改善推進員協議会 各種研修受講による自己研鑽</p> <p>熊本県立大学 たべらボランチミーティング</p> <p>熊本県立大学 くまもと食育ガイドブックを使用した講義</p> <p>尚綱大学・尚綱大学短期大学部 尚綱学食レシピコンテスト</p> <p>尚綱大学・尚綱大学短期大学部 尚綱乳幼児食育研究会</p> <p>尚綱大学・尚綱大学短期大学部 尚綱食育シンポジウム</p> <p>シェフパティシエ学院 栄養ワンダー2024に協賛予定</p> <p>熊本県調理師会 専門学校への講師の派遣</p>
<p>I-(3) 地域における食育の推進</p> <p>熊本市農業協同組合 地域貢献活動としてこども食堂への支援</p> <p>熊本県栄養士会 母子福祉支援活動における親子料理教室</p> <p>熊本県歯科衛生士会 高齢者健口講座</p> <p>食生活改善推進員協議会 おやこの食育教室</p> <p>民生委員児童委員協議会 子育てサークルやいきいきサロンでの情報提供</p> <p>8020健康づくりの会 歯と口の健康づくり啓発</p> <p>8020健康づくりの会 高齢者サロン、老人会での口の体操</p>	<p>II-(3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進</p> <p>食生活改善推進員協議会 牛乳飲用消費拡大事業</p> <p>熊本県立大学 学食販売メニューに無料で野菜スープを提供</p>

Ⅲ 市民運動としての食育の展開	Ⅳ 持続可能な食を支える食育の推進
<p>Ⅲ-(1) 市民協働による食育運動の展開</p> <p>熊本県栄養士会 情報誌りんどうでの情報発信</p> <p>熊本県栄養士会 栄養の日における栄養情報等の普及啓発イベント</p> <p>熊本県栄養士会 はあもにいフェスタ、健康フェスティバル、地域の健康祭りでのブース展示と栄養相談</p> <p>熊本県栄養士会 自立支援型地域ケア会議</p> <p>熊本県栄養士会 ラジオ、テレビ出演での食育の推進</p> <p>熊本県歯科衛生士会 歯の祭典、健康フェスティバルでの啓発</p> <p>熊本市保育園連盟 ほいくフェスタ・わんぱくまつりでの食育啓発</p> <p>熊本市歯科医師会 歯の祭典、健康フェスティバルでの啓発</p> <p>熊本市歯科医師会 歯たちの健診での健診と食育指導</p> <p>食生活改善推進員協議会 熊本城マラソンおもてなし隊でのみそ汁配付</p> <p>熊本県立大学 食育に関する図書館展示</p> <p>熊本県立大学 公開講演会(食育・健康フェスティバル)の開催</p> <p>全日本司厨士協会熊本支部 ときわ幼稚園に食育訪問</p> <p>(株)熊本地方卸売市場 消費拡大・食育推進のための料理教室の開催</p> <p>(株)熊本地方卸売市場 田崎市場感謝祭</p> <p>熊本県漁業協同組合連合会 魚食普及のための料理教室やコンクールの開催</p> <p>8020健康づくりの会 わんぱくまつり等での歯と口の健康づくり啓発</p>	<p>Ⅳ-(1) 生産者と消費者の交流促進</p> <p>熊本市農業協同組合 あぐりキッズスクール</p> <p>熊本市農業協同組合 伝統野菜や米の栽培指導等の食育活動</p> <p>熊本市漁業後継者クラブ 小・中学校等への熊本市産ノリの提供</p> <p>尚綱大学・尚綱大学短期大学部 天草地区漁業士会と連携した食育イベントの開催</p> <p>Ⅳ-(2) 地産地消の促進</p> <p>熊本県立大学 県産食材使用の学生考案メニューの学食販売</p> <p>尚綱大学・尚綱大学短期大学部 行政と連携し、県産果物の周知活動の実施</p> <p>熊本県調理師会 熊本県産ノリを使い、子ども食堂への協力</p> <p>(株)熊本地方卸売市場 田崎市場に理解を深めてもらうための市場見学</p> <p>Ⅳ-(3) くまもとの食文化の伝承</p> <p>食生活改善推進員協議会 くまもとのごはん料理教室への支援</p> <p>食生活改善推進員協議会 小中学校、高校等での郷土料理講習会</p> <p>尚綱大学・尚綱大学短期大学部 熊本の郷土料理の啓発活動</p> <p>熊本県調理師会 県産野菜(ひご野菜)等を使った料理教室の実施</p> <p>Ⅳ-(4) 食の循環や環境を意識した食育の推進</p>
<p>Ⅲ-(2) 食育支援団体のネットワークの整備</p> <p>熊本県栄養士会</p> <p>私立幼稚園・認定こども園協会</p> <p>熊本市保育園連盟</p> <p>食生活改善推進員協議会</p> <p>民生委員児童委員協議会</p> <p>熊本市こどもの食育推進ネットワークでの研修会等への参加と、相互に連携した活動による乳幼児期の食育の推進</p>	<p>Ⅴ 食育を通じた食の安全安心の確保(共通)</p> <p>Ⅴ-(1) 災害に備える食を含めた、食の安全性や栄養等に関する理解の促進</p> <p>託麻原青少年健全育成協議会 防災ワンデイキャンプ(防災めし、泥水ろ過装置)での食育</p>
<p>Ⅲ-(3) 新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進</p> <p>熊本県総合保健センター 動画を利用した健康に関する情報提供</p>	

# 「いきなり団子」プロジェクト

## 概要

熊本市内の小中学生及びその保護者を対象に、郷土料理教室等を開催し、次世代を担うこども達へ熊本の食文化を伝承するとともに、こども達と地域ボランティアの世代間交流の場をつくる。

令和6年度からの新規事業で、熊本市食生活改善推進員協議会への委託事業。

## 目的

1. 熊本の郷土料理を小中学生及びその保護者へ普及啓発を行い、家庭での食事に郷土料理を取り入れている市民の割合を増やす。
2. 地産地消や地域活性化につながる郷土料理の魅力を伝え、次世代への伝承を目指す。

## 内容

### 料理教室

対象:小3年生から中学生

※保護者の参加も可

会場:小中学校の調理室

内容:郷土料理のお話と調理実習

(いきなり団子と郷土料理1品)

資料:「熊本のごはん」レシピ集

実施回数:20回(20クラス)

### イベント啓発

地域で行われる、イベント等での啓発

内容:①いきなり団子の試食提供

または郷土料理の展示

②「熊本のごはん」レシピ集配布

③参加者アンケートの実施

実施回数:5回

応募状況:16校(小学校10、中学校6) 45クラス より応募あり  
抽選の結果 ➡ 7校(小学校4、中学校3) 20クラスで実施予定

